

連携だより おおもり日赤



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

〒143-8527

東京都大田区中央4丁目30番11号

TEL03-3775-3111(代)

FAX03-3776-0004(代)

新春号(第30号)
平成23年1月発行
日本赤十字社東京都支部
大森赤十字病院

★★★院長より新年のご挨拶★★★

2011年の新年のあいさつ

大森赤十字病院 院長 山之内 博



あけましておめでとうございます。

日ごろから先生方と私ども大森赤十字病院との医療連携を推進していただき、心から感謝いたしております。

私どもにとりまして念願の病院改築の工事は順調に進みまして、昨年春、第一期工事として病院機能の大部分が完成いたしましたので、5月から新病院での診療をおこなっております。利用される患者様にとって良い病院であることが第一で、安全のために免震構造とし、地下2階、地上7階の302床でスタートいたしました。今年の秋には二期工事が終了し、全館完成しますと315床となり、約100台駐車できる駐車場もできます。

新病院に向けて重視しました点は、まず6床のICU(CCUを含む)を新設したこと、放射線機器を充実させ、1.5テスラのMRIの導入、64列のCT、SPECT検査のRI装置、そして放射線画像システムを導入してフィルムレスにしたこと、次に産科部門を強化し分娩室は緊急手術対応可能の個室化、陣痛室も個室化いたしました。従来9床だった透析室を15床にし、手術室も増やし、検査部門では超音波、内視鏡、心電図などの検査室を大幅に増やして充実させました。

新病院の開始に前後しまして医師も大幅に充実いたしました。呼吸器内科、糖尿病、乳腺外科、大腸がん外科の専門医をそれぞれ部長として新たに迎えることができ、22年度には中堅、若手も含めて十数人医師が増え、今までのスタッフに加え、かなりレベルアップしたと自負しております。

大森赤十字病院は地域密着型の病院として活動してきましたし、これからも従来通り地域の医療を担う病院のひとつとしての役割を果たしてゆきたいと思っております。また、災害時の救護は日赤病院のもうひとつの役割です。万一、大規模地震が発生した場合には拠点病院のひとつとして救護活動に邁進するつもりです。

私どもは「信頼され心あたたまる病院」を病院の基本理念としております。これからも医療連携をますます深めて、先生方からいままで以上に信頼されてより多くの患者さんを紹介してもらえる病院になるよう努力を続ける所存です。本年もどうかよろしくお願いいたします。

【病院の基本理念】 信頼され心あたたまる病院

【基本方針】

1. 安全で質の高い・患者様の立場にたった丁寧な医療を提供します。
2. 救急医療の充実と発展に努めます。
3. 地域医療連携を推し進めます。
4. 災害救護に積極的に取り組みます。
5. 経営の健全化を図りその成果を医療活動に還元します。
6. 医療従事者の教育と研修を推進します。



単孔式腹腔鏡下手術（SILS） —創が目立たない手術—



外科 米山 さとみ

大森赤十字病院外科では、新病院になって 2010 年 6 月から、単孔式腹腔鏡下手術（SILS（シルス）：Single Incision Laparoscopic Surgery）を開始しました。

従来の腹腔鏡下手術は、腹部に 3～5 ヶ所の小さな孔をあけて、そこから腹腔鏡カメラと手術器具を挿入し、カメラの映像を見ながら器具を操作して行う手術です（図 1）。腹部を大きく開ける開腹手術と比べて、体への負担や術後の痛みが少なく、早期離床・早期退院が可能となることから、国内でも 1990 年代以降普及が続いています。さらに、器具の進歩によりこの腹腔鏡下手術は広まりを見せており、胆嚢摘出術においては腹腔鏡下手術が標準的手術となってきました。この腹腔鏡の大きな流れの一つとして、腹部にあける孔の数を減らしたり、孔の大きさを縮小したりする試みがあります。

今回ご紹介する単孔式腹腔鏡下手術は、2007 年米国 Drexel 大学のグループが、臍の部分縦に切開することにより、一つの傷から、腹腔鏡下胆嚢摘出術が可能であったことを初めて報告して以来、広まっている手術術式です。国内では 2009 年度から急速に広がってきた最新の腹腔鏡手術であり、単孔式の名のとおり、臍部に 1 ヶ所だけ 1.5～2cm の孔をあけて、そこからカメラと 2 つの器具を挿入して行う手術です。（図 2）従来の腹腔鏡下手術よりも創部が少なく、低侵襲手術であり、術後の癒着による合併症が少なくなると考えられています。また傷跡は 1 ヶ所だけで、臍の中に引き込まれて見えにくくなるため、整容的なメリットもあります。（図 3）当科で導入されるようになってから施行された胆嚢摘出術においても、従来の腹腔鏡の適応となる症例に対して、治療のオプションとして単孔式を説明致しましたところ、ほぼ全例で希望されています。実際に炎症の程度として従来の腹腔鏡で切除可能な胆嚢では、単孔式にても同様に安全に施行されており、早期退院が可能となっています。術後も整容性の点でも満足を頂いております。また、小腸腫瘍といった部位の同定が必要となる症例にも腹腔鏡として使用が可能であり、単孔式では同時に腹腔内を操作する器具を使用できることから、余分な侵襲を加えずに診断・治療が可能となっています。

当科では本術式が今後の内視鏡外科における一つの選択肢となるよう、そのメリットやデメリットをよく理解し適応を考え、十分なインフォームドコンセントを得た上で実施し、ニーズにお応えしていきたいと思っております。



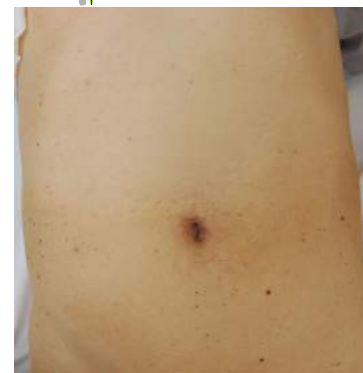
従来法

（図 1）
従来の切開創



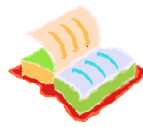
単孔式

（図 2）
単孔式の切開創



（図 3）
単孔式の創部（術後 14 日目）

時間とともに縮小し、さらに目立たなくなります。



★★★ 地域医療連携協議会 ★★★

平成 22 年 11 月 16 日 (火) 大森東急イン (フォレストルーム) にて、大森医師会より 鏑木 公夫会長、金子 則彦副会長、北條 稔副会長、荒井 俊秀理事、戸金 隆三理事、蒲田医師会より 南雲 晃彦会長、田園調布医師会より 荻原 牧夫会長、品川区医師会より 高瀬 茂会長、上野 正巳副会長、吉田 三夫副会長、茂手木 雅子 監事、荏原医師会より 白岩 照男会長、瀬底 正彦副会長、原 正博副会長にご出席をいただき、平成 22 年度 地域医療連携協議会が開催されました。地域医療連携協議会は、関係機関と密接な連携を図りながら、患者中心の持続性のある適正な医療を確保するとともに、一層の地域医療の向上に寄与するために年 1 回開催しております。

なお、今年度の議事は紹介、逆紹介患者数、医師会紹介患者入院数、高額医療機器共同利用状況、救急患者・救急車受入状況、医師会登録医件数、地域医療機関を含む研修会実績状況等、報告させていただきました。

また消化器科部長 後藤 亨より『転移性肝臓に対する経皮的ラジオ波焼灼療法 (RFA) ー大森赤十字病院消化器科 10 年の歩みとともにー』、蒲田医師会 会長 南雲 晃彦先生より『大田区の医療連携がめざすもの』について演説をしていただきました。

協議会にて



南雲会長



後藤医師



懇親会にて



★★★新任医師紹介★★★

★ 眼科医師

村田 和子

出身大学

杏林大学

専門分野

眼科一般

学会専門医等

日本眼科学会専門医

自己PR

地元に着したここ大森日赤において、患者様の望まれる医療に応えられるよう、地域の先生方との連携を持ちながら日々の診療に向かいたいと思います。よろしくお願ひ致します。



～よろしくお願ひ致します～



★★★連携室よりお知らせ★★★

NEW!

《物忘れ外来のご案内》

12月15日より、神経内科にて「物忘れ外来」を開始致しました。毎週水曜日の午後、担当は山之内院長です。

予約制となりますので、ご希望がございましたら連携室までご連絡ください。

なお、詳細は連携室までお問い合わせください。

《眼科予約のご案内》

眼科外来予約に連携室専用の予約枠ができました！

今まで予約が取りにくくご迷惑をおかけしておりましたが、連携室専用の予約枠ができました。

毎週火・水・木曜日 各2名 9:30～ ※部長 秋山医師がご診察致します。

《消化器科予約のご案内》

消化器科外来予約に連携室専用の予約枠があります！

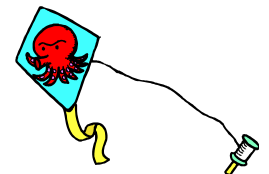
火曜日：太原 洋医師

水曜日：諸橋 大樹医師

金曜日：井田 智則医師

各2名

※なお、部長 後藤医師のご診察は随時予約可能です。



《FAX予約について》

患者様のご紹介予約および検査予約をFAXで受付することができます。

『FAX予約申込書』をご用意しておりますので、必要がございましたら連携室までご連絡ください。

なお、従来通り電話での予約申込も行っております。

《精神神経科のご案内》

精神神経科の受診は**完全予約制**とさせていただきます。予約をいただいていない場合には、当日受診出来ない場合もございますので予めご了承くださいませようお願ひ申し上げます。

《医療連携室のご案内》

受付時間 月～金 8:30～17:00

担当 看護係長 友岡道子

事務担当 鈴木文子、水村加織

休診日 土曜日、日曜日、祝祭日

年末年始 (12/29～1/3)

5月1日 (日本赤十字社創立記念日)

TEL 03-3775-3676 (直通)

FAX 03-3775-3653

URL <http://www.omori.jrc.or.jp/>

発行人 大森赤十字病院 医療連携室

